

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	京都議定書目標達成のための廃棄物部門緊急調査		事業開始年度	平成21年度		
担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		担当課室	循環型社会推進室		
会計区分	一般会計		上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号) 第二十九条・・・『調査の実施』		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画第5章『国の取組』第2節『国内における取組』、1循環型社会、低炭素社会、自然共生社会を統合した持続可能な社会に向けた展開		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	循環資源の流れを定量的により詳細に把握することで、①国内廃棄物部門からの温室効果ガス排出量の正確な算定(過大・過小評価の是正等)と早期化に加え、②潜在的な循環利用の可能性を発掘し、新たな循環政策を企画立案、③国際市況の変化に左右されない安定的な国内循環システムの形成推進に資する。また、指標の速報化等の課題解決に必要な循環資源に関する情報が強化される。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	京都議定書目標達成計画に定められた廃棄物部門からの温室効果ガス排出量削減の目標達成に向けて、約束期間中に実施した施策の効果を把握し、さらに追加的に必要となる施策を迅速に立案するため、国による廃棄物の排出・処理状況及びそれに基づく廃棄物部門からの温室効果ガス排出量の全国的な調査を実施する。国内廃棄物部門からの温室効果ガス排出量の正確な算定と早期化が図られることにより、約束期間内に事業者等により講じられた施策の効果を迅速に把握することが可能となり、第1約束期間内の2011年から温暖化対策への施策の企画・立案に役立てる。加えて、潜在的な循環利用の可能性を発掘し、資源の有効利用と環境負荷の低減に活用、経済変動や資源価格の乱高下に対して安定的な循環システム形成へ貢献する。					
実施状況	①廃棄物分野の温室効果ガス排出係数正確化に関する調査 ②京都議定書目標達成のための産業廃棄物緊急調査事業 《請負契約2件》					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(修正後)	—	—	328	0	—
	執行額	—	—	188		
	執行率	—	—	57.3%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	188		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	作業過程において、随時、それぞれの請負業者と連絡や打合せを繰り返し行い、また、納品された成果物により、適正に執行されたかの確認を行っている。				
	見直しの余地	平成21年度限りの事業				
予算監視の所見率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
	単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省
188百万円

【総合評価入札 請負】

A. (株)数理計画
118百万円

（廃棄物分野の温室効果ガス
排出係数正確化に関する調
査の実施

【総合評価入札 請負】

B. 応用技術(株)
70百万円

（京都議定書目標達成のため
の産業廃棄物緊急調査事業
の実施

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. (株)数理計画			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	3廃棄物分野の温室効果ガス排出係数正確化に関する調査	118			
計		118	計		0.00
B.応用技術(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	京都議定書目標達成のための産業廃棄物緊急調査事業	70			
計		70	計		0.00
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0.00
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.00	計		0.00